

報告事項 1

平成24年6月定例県議会の概要について

このことについて、平成24年6月18日から7月5日までの会期で開催された定例県議会における教育委員会所管分の質疑状況等について別紙資料に基づき報告します。

平成24年7月23日

総務課

平成24年6月定例県議会代表質問一覧

自由民主党代表質問 杉 浦 孝 成

6 次代を担う人づくりについて

今後の特別支援教育のあり方について

先ほど述べましたような様々な課題があることを踏まえ、今後の本県の特別支援教育をどのように進めていくお考えか、教育長の御所見をお伺いいたします。

民主党代表質問 長 江 正 成

7 通学路の安全対策について

(2) 子どもたちの交通安全への意識を高めるためには、どのように取り組んでいかれるのか、教育長にお聞きします。

減税日本一愛知代表質問 高 桑 敏 直

4 教育の充実と芸術文化の振興について

(1) あいちの教育に関するアクションプランⅡの推進について

県民の参加を得て、子どもたちの道徳性・社会性の向上を図るため、県として、具体的にどのような取組を進めていかれるのか、教育長のご所見をお伺いいたします。

平成24年6月定例県議会 代表質問（6月20日）教育長答弁要旨
自由民主党 杉浦 孝成 議員

【質問要旨】

6 次代を担う人づくりについて

今後の特別支援教育のあり方について

先ほど述べましたような様々な課題があることを踏まえ、今後の本県の特別支援教育をどのように進めていくお考えか、教育長の御所見をお伺いいたします。

【教育長答弁要旨】

今後の本県における特別支援教育の進め方についてお尋ねいただきました。

議員ご指摘のとおり、本県の特別支援学校の過大化や長時間通学の問題は、正に喫緊の課題となっております。

また、これまでの盲・聾・養護学校における障害種ごとの取組だけでなく、複数の障害種に対応する新たな学校づくりや、障害のある子どもと障害のない子どもが共に学ぶことのできる学習環境づくりなど、新たな課題も数多く出てきているところでございます。

こうした点を踏まえ、教育委員会といたしましては、特別支援学校のみならず、幼稚園・小中学校・高等学校を含め、障害のある幼児児童生徒が、自立し社会参加するために必要な力を培うことができるよう、各市町村教育委員会とも連携をいたしながら、特別支援教育のより一層の充実に向けて取組んでまいりたいと考えております。

そのためにも、市町村をはじめ関係者から幅広く意見を伺いながら、様々な課題を総合的にとらえ、中・長期的な視点に立った本県の特別支援教育の推進方策につきまして、今後、早急に検討していく必要があると考えております。

【質問要旨】

7 通学路の安全対策について

- (2) 子どもたちの交通安全への意識を高めるためには、どのように取り組んでいけるのか、教育長にお聞きします。

【教育長答弁要旨】

子どもたちの交通安全への意識を高めるための取り組みについてお尋ねいただきました。

各学校では地域や保護者の協力を得て、通学路における見守りなど、子どもたちの安全確保に努めているところでございますが、こうした大人による活動だけではなく、子どもたち自身が交通事故から自分を守ろうとする意識を高めることが、安全確保のためには必要であると考えております。このため、学校において、子どもたちが主体的に取り組む安全学習を積極的に取り入れますとともに、自分で危険を予知し、危険を自ら回避する力を身につけられるような指導を行っていくことが大切でございます。

教育委員会といたしましても平成22年度に、全ての公立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校に配付をいたしました「あいちの学校安全マニュアル」の中で、子どもたちが通学路の危険な場所を考えながら安全マップを作成したり、危険予知のトレーニングをしたりする取り組みを紹介いたしまして、各学校で効果的な実践ができるよう、その活用を促しているところでございます。

今後とも、市町村教育委員会を通じまして、各学校で子どもたちの安全意識を養い、能力を高めるための安全教育がしっかりと行われるよう働きかけてまいりたいと考えております。

【質問要旨】

4 教育の充実と芸術文化の振興について

(1) あいちの教育に関するアクションプランⅡの推進について

県民の参加を得て、子どもたちの道徳性・社会性の向上を図るため、県として、具体的にどのような取組を進めていかれるのか、教育長のご所見をお伺いいたします。

【教育長答弁要旨】

子どもたちの道徳性・社会性の向上への取組についてお尋ねいただきました。

道徳性や社会性は、社会生活を送る上で不可欠なものでございまして、県政モニターアンケートでも、今後、県が力を入れるべき教育分野の1位に道徳教育が挙げられるなど、その向上が強く期待されているところでございます。また、道徳性や社会性は人との関わりの中で育まれるものであり、学校はもとより、家庭や地域が一体となって取り組む必要がございます。

そこで、「あいちの教育に関するアクションプランⅡ」では、県民の幅広い参加の下、モラルやマナーを向上させるための取組を粘り強く展開することといたしてございまして、今年度は、「公共の場におけるモラル・マナーの向上」を重点テーマに設定し、電車・バス内と自転車運転におけるモラル・マナー向上キャンペーンを実施していくこととしております。

具体的には、9月と10月を向上月間とし、市町村教育委員会やPTA、企業などの協力を得まして、県民のデザインによるポスターの掲示や各地での街頭キャンペーンを展開いたしますほか、学校においても、駅や通学路で地域や保護者と連携した取組を積極的に行ってまいることといたしてございます。

今後とも、こうした活動を通じまして、地域を挙げて、子どもたちの道徳性・社会性を育む気運を高めてまいりたいと、このように考えております。

平成24年6月議会一般質問一覧

教育委員会総務課

順	氏名	会派	質問項目	担当部局	担当課	備考
1	島 倉 誠	自 民	1 交通安全対策とITSの活用について			
			(1) 通学路の安全確保について			
			ア 県管理道路の通学路の整備状況と安全対策への取り組みについて	建設		
			イ 通学路の交通安全に関するプロジェクトチームについて	県民		
			(2) 自転車利用に関する交通安全教育等について			
			ア 児童生徒に対する取り組みについて	教育	健康学習課	
			イ 高齢者を含めた一般の方々に対する取り組みについて	県民		
			(3) 交差点対策について	警察		
			(4) 交差点等のカラー舗装の進捗状況と今後の予定について	建設		
			(5) 高度道路交通システム（ITS）への取り組みについて	地域		
			2 風水害に対する減災対策について	防災 建設		
2	西久保ながし	民 主	1 知事の県政運営について			
			(1) 中京都構想について	知政		
			(2) 減税について	総務		
			2 あいちの自動車産業イノベーションプランについて	産労		
3	寺西むつみ	自 民	1 愛知万博から10年を迎える本県の事業展開について	産労		
4	佐藤 敦	日 本	1 災害廃棄物の受け入れに対する情報の県民への広報について	環境		
			2 生物多様性の保全に向けた取り組みについて	環境		
5	犬飼明佳	公 明	1 防災・減災と社会資本の整備について	建設		
			2 自殺対策について	健福		
			3 環境調査センター・衛生研究所の建替えについて	環境 健福		
6	中野治美	自 民	1 防災対策			
			(1) 液状化対策について			
			ア 液状化調査の現状と情報提供体制	防災		
			イ 想定される戸建住宅の被害	防災		
			ウ 幹線道路などにおける下水道の液状化対策	建設		
			エ 幹線道路などにおける上水道の液状化対策	企業		
			オ 県管理河川の堤防の液状化対策	建設		
			カ 県立学校の運動場の液状化対策	教育	財務施設課	
			(2) 警察の活動について	警察		

7	鈴木純	民主	1	防災行政について			
			(1)	消防団活動	防災		
			(2)	自主防災組織の現状と防災士	防災		
			(3)	高校生の防災教育（ボランティア）	教育	健康学習課	
			2	災害時の医療について			
			(1)	災害時の医療提供体制（災害医療コーディネーター）	健福		
			(2)	愛知県地域保健医療計画の見直し	健福		
			3	中小企業地域活性化条例（仮称）について	産労		
8	藤原宏樹	自民	1	B-1グランプリについて	産労		
			2	あいちトリエンナーレ2013について	県民		
9	岡江智子	日本	1	タブレット型端末の活用について	地域		
			2	愛知用水を活用した小水力発電について	農水		
10	石井芳樹	自民	1	警察行政について	警察		
			2	県道瀬戸大府東海線について	建設		
			3	消費生活相談体制の強化について	県民		
11	佐波和則	民主	1	橋梁等の長寿命化修繕計画について	建設		
			2	名古屋港国際バルク戦略港湾について	建設		
			3	地域の安全確保について			
			(1)	防犯カメラ設置モデル事業の検証結果について	警察		
			(2)	防犯カメラ設置における普及・拡大の考え方について	県民		
			(3)	防犯カメラ設置に係る子どもの安全確保について	教育	健康学習課	
12	青山省三	自民	1	警察行政について	警察		
			2	精神障害者の福祉対策について	健福		
			3	企業立地について	産労 企業		
			4	災害廃棄物の受入れについて	環境		
13	樹神義和	民主	1	愛知の子ども・子育て	健福		
			2	リニアインパクトを活用した地域づくり	地域		
14	森下利久	自民	1	防災対策と消防団の在り方について	防災		
			2	福島第一原子力発電所と災害廃棄物の処理について	環境		

【質問要旨】

1 交通安全対策とITSの活用について

(2) 自転車利用に関する交通安全教育等について

ア 運転免許を持たない児童生徒に対し、自転車運転の安全教育を積極的に行う必要があると思いますが、教育委員会では、どのような取り組みをされているのか教育長にお伺いします。

【教育長答弁要旨】

子どもたちに対する自転車運転の安全教育についてお尋ねをいただきました。

近年、登下校中の自転車による重大事故が多発するとともに、加害事故も発生しておりますことから、自転車の安全運転教育には特に力を入れて取り組んでいくことが課題となっております。

このため、各学校では所轄署の警察官を招きまして、自転車安全運転教室などを実施しているところではございますが、特に高校生につきましては、自転車通学が増えることから、入学時に新入生とその保護者に対しまして、自転車の交通規則や安全運転のチェックリスト、加害事故によって責任を問われることになった事例などを掲載いたしましたリーフレットを配布いたしまして、安全意識の啓発を行っているところでございます。

また、今年度は「幅広い県民の参加による道徳性・社会性の向上」を図る一環といたしまして、自転車運転マナーを取り上げ、キャンペーン活動を行うことといたしております。

今後とも、子どもたちが交通社会の一員として自転車運転の規則を遵守し、被害者にも加害者にもならないよう、交通安全教育を徹底してまいりたいとこのように考えております。

【要望】

それでは、ただ今それぞれの部局から、大変前向きな答弁をいただきました。また、

知事からも前向きな答弁をいただきましたので、ここで少し、要望だけさせていただきたいと思います。

まず、交通安全対策であります。本当に、交通安全対策、喫緊の課題であります。是非ともですね、今年の関係部局がですね、情報交換を密にさせていただいて、それぞれ有効な対策を講じていただきまして、総力を挙げて、この全国ワースト1の汚名を返上していただきますよう、お願いをいたします。

【質問要旨】

1 防災対策

(1) 液状化対策について

カ 避難所に指定されている県立学校の運動場の液状化についての調査は行われているのでしょうか。液状化の危険度が高いと予想される地域の運動場について、何らかの対策をとられる予定があるのでしょうか。あるのであれば具体的にお答えください。

【教育長答弁要旨】

県立学校の運動場の液状化対策についてもお尋ねいただきました。

東日本大震災におきましては、学校施設が子どもたちの命を守るだけでなく、地域の皆様の避難所としても大きな役割を果たしたところでございます。

液状化により建物へも影響が懸念されますが、県立学校におきましては、新耐震基準を厳しく運用しておりまして、耐震補強を終えた建物の安全性は確保されているところでございます。

一方、議員お示しの運動場の液状化調査につきましては、液状化の影響が学校敷地を越えて、広範な地域に及ぶことが想定されますため、これまで学校単独での調査は実施しておりませんが、今年度、県の被害予測調査検討委員会におきまして、建物の倒壊や液状化などの被害予測を行い、それらに対する防災・減災対策を検討すると聞いております。

このため、その結果を踏まえながら、また、地元市町村との間で、県立学校に求められる避難所としての機能及び役割分担を十分調整しながら、今後の対応を判断してまいりたいと考えております。

【要望要旨】

1点要望させていただきます。

—（中略）—

教育長の方から答弁いただきました。

確か去年の3月11日、午後2時10分まで、2月議会の総務県民委員会をしております

した。その日は、防災局の委員会であります。その後30分後に、誰が想像したでしょう。マグニチュード9という日本でそのような地震が起きるということは、誰も国民1人とも想像したことがありません。予想した人もいません。

それが、現におきたということは、今日、東海地震、東南海地震が起きるのかもしれませんが。誰も分かりません。先程の公明党の犬飼先生の質問にもありました。早急にやらないとダメだ。

特に避難場所である小中学校、そこは安全だから皆そこへ避難するわけでありまして。そこでグラウンドが液状化、避難所とされている運動場に大規模な液状化現象が起きたときに、どうなると思います。だから1日も早く、そのような調査をしてくださいということを私は質問で言っているのです。

本当かうそか知りません。そのグラウンドも昭和30年代、40年代には、瓦礫で埋め立てたようなところもあるということを聞いております。子どもたちが、地震でグラウンドに出た。そこら中で、ボコボコボコと埋め立てられた瓦礫が、液状化のために浮きあがってきたならば、安全なはずのグラウンドが1番危険な避難場所になるのです。そういうことも踏まえて1日も早く、調査をしていただくことをお願いして質問を終わります。

【質問要旨】

1 防災行政について

(3) 高校生の防災教育(ボランティア)

小中学生には避難訓練が重要と考えるが、高校生にはボランティア活動等に寄せる期待が大きいと思います。そこで、高校生の防災教育の意義とその実践について教育長の御所見をお伺いします。

【教育長答弁要旨】

高校生の防災教育の意義とその実践についてお尋ねをいただきました。

高校生が防災について学び、自ら安全確保のための行動が取れる力を身につけることは、これは当然必要なことですが、これに加えて、議員御指摘のとおり、高校生には、災害発生時や事後の対応におきまして、学校や地域に進んで貢献することが期待されております。

平成16年度から、実施をいたしております「高校生防災セミナー」、ここにおきましても、こうした点を踏まえまして、災害時には積極的にボランティア活動へ参加しようとする意識の醸成とか、それから、学校や地域の防災力向上に貢献できる防災リーダーの育成と、こういったことを大きな目的の一つとしているところでございます。

このセミナーでは、当初、阪神淡路大震災の被災地の視察や現地高校生との交流を通しまして災害について学んで参りましたけれども、平成21年度からは、国内外において災害ボランティア活動の実績があるNPO法人から、ボランティアの役割や地域住民と積極的に関わっていくことの重要性について学んでいるところでございます。

このセミナーを契機として、各学校で防災啓発活動に取り組むとともに、地域の防災訓練に積極的に参加したり、地域住民とともに宿泊避難訓練を行ったりするなど、それぞれ工夫した活動が行われているところでございます。

教育委員会といたしましては、今年度から、市町村防災担当者の参加も得まして、小中学校及び高等学校の防災教育担当者の研修会を開催することといたしております。今後、こうした機会なども活用いたしまして高校生と地域の結びつきを強めるための防災教育の推進を図って参りたいと、このように考えております。

【質問要旨】

3 地域の安全確保について

- (3) 教育委員会では、防犯カメラの設置について、あいち地域安全戦略2015では触れられておりませんが、防犯という観点から子どもたちの安全確保について、どのように考えておられるのか、教育長にお伺いします。

【教育長答弁要旨】

教育委員会にも、子どもたちの安全の確保の観点から、防犯カメラの設置についてお尋ねをいただきました。

侵入犯罪や街頭犯罪などから被害者になりやすい子どもたちの安全を守るうえで、防犯カメラの設置は、犯罪抑止や不審者への素早い対応などの面におきまして有効であると、このように考えております。実際にも、小中学校では、防犯カメラの設置も進んでおりまして、この他にも、それぞれの判断でセンサーやインターホンなどの設置により、子どもの安全対策が講じられているところでございます。

ただ、防犯カメラやセンサーでは、常時の監視や通学路のすべてをカバーすることは困難であると、こういった問題もございます。

このため、各学校では校内への不審者侵入時のマニュアルを作成し、実際の侵入時を想定した場合の職員や子どもたちへの訓練も行っております。また、通学路の安全対策として、学校安全ボランティアやスクールガード、事業者の方の協力をいただきながら、見守り活動も行っているところでございます。

いずれにいたしましても、防犯カメラなどの機器の整備や地域をあげての見守りなど、総合的に子どもの安全の確保に努めていくことが重要であると、このように考えております。

【一般質問】

直江 弘文 委員 (自由民主党)

○総合学科の成果と総合技術高校(仮称)の進捗状況について

- ・総合学科設置の成果
- ・総合技術高校(仮称)の進捗状況

○英語教育について

- ・会話を中心とした英語教育についての現在の状況

○エネルギー・環境教育について

- ・太陽光パネルの設置状況

鈴木 正 委員 (自由民主党)

○社会教育・野外教育施設の利用状況について

- ・野外教育センター、美浜少年自然の家、旭高原少年自然の家の
の宿泊利用状況

谷口 知美 委員 (民主党)

○教育懇談会について

- ・教育委員会としての捉え方
- ・複合選抜制度に到る経緯と現行制度の課題及び対応

○幼児教育の充実について

- ・現在の取組について
- ・「愛知の幼児教育指針」の対象と内容、意義

日比 たけまさ 委員（民主党）

○コミュニティ・スクールについて

- ・現在の県の導入状況、メリット・デメリット
- ・学校評議員制度を含めた今後の方向性

○若者学習支援人材育成事業について

- ・研修先となっている現場（特別支援学校）からの声
- ・産業労働部との連携

○放射線に関わる指導について

- ・放射線教育の進め方
- ・今後の放射線教育の充実、現場教員への支援

東 裕子 委員（減税日本一愛知）

○英語教育について

- ・高等学校における新学習指導要領実施に伴う準備
- ・実践的、一貫した英語教育の必要性
- ・英語教員の採用方法

野田 留美 委員（減税日本一愛知）

○定時制高校の給食について

- ・農業高校で生産された食材の利活用

犬飼 明佳 委員（公明党）

○県スポーツ会館について

- ・見直しの時期、プロセス、対外的な説明